



初日の出に新年託して

平成6年の新しい年が明けました。特にいつもと変わらない朝ですが、年が改まったことですがすがしい気持ちになります。八郷の山並みを静かに照らしながら昇る太陽は、おごそかでごうごうしく思わず手を合わせてしまいます。ことしの初詣は去年を大きく上回ったそうで新しい年への期待がうかがわれます。

「ことしこそよい年でありますように」と祈る八郷の社寺への参拝者も多かったことでしょう。不況に暮れた昨年を一掃し景気のカーブを上向きにしたい願いを叶えてほしいものです。



バランスのとれた町めざして

農業協同組合長の萩原久さん、商工会長の永井清さんと町長に就任して四年目を迎える桜井町長が「町産業の活性化・発展と二十一世紀にむけた町づくり」について、新しい年の初めに座談会を行いました。場所は親らん聖人ゆかりの地で有名な大増の板敷山大覚寺。静かで落ち着いたたたずまいの中で、約二時間にわたり話し合われました。基幹産業である農業の振興と伝統ある商店街の活性化は、町の発展に欠かすことができません。現在取り組んでいる事業や今後のビジョンを話していただきました。



左から永井商工会長、桜井町長、萩原農協組合長
(板敷山大覚寺にて)

町長 新年あけましておめでとうございます。本日はお忙しい中、新春座談会ということで、萩原農協組合長さん、永井商工会長さんにお出でいただきましてありがとうございます。二十一世紀も真近に迫っており、町政の課題、引いては八郷町の将来をどうするかなど、せっかくの機会ですので卒直なご意見を賜りたいと思います。

私は常々、この豊かな自然を守りつつ都市の利便性を兼ね備えることが町づくりの基本であると考えております。しかしながら町の基幹産業の農業が、農産物の輸入自由化の波を受け、かつてないほど厳しい状況に立たされておられ、なんとか付加価値のある農業への転換を考えているところです。また、柿岡を中心とする町の商業活性化もこれまた厳しいものがあります。商業活性化には交通体系等の整備が不可欠であり、町へ人をいかに集めるか、すなわち観光ということも極めて重要な位置を占めてまいります。

いま、フラワーパークは年間四十五万人の誘客を見ており、この度、スポーツスライドやフラワースイクルを備えたふれあいの森を併設しまして、静と動のある施設としてご利用いただいております。さらに、根小屋地区に約百町歩規模の県畜産試験場の誘致に成功いたしました。そこでは和牛、乳牛を主体に品質改良をし、茨城県、日本そして世界の基礎となる牛が生まれる訳であります。試験場に併設いたしました観光的な動物ふれあいランドといった施設も県とともに進めているところです。ここにも私は十万人以上の誘客を見込んでいます。将来、フラワーパークと畜産試験場を結びつけ観光的エリアとして大きく育てたい考えです。人が集まれば、引いては商工会、柿岡商店街の活性化につながります。そういう中で、組合長さん、会長さん等のご意見をうかがい、基幹産業の農業と商工業を結びつけながら町のさらなる発展につなげたいと考えております。

町宣伝し消費者の理解得る

組合長 今回、こめの部分開放

を認めたウルグアイラウンドの決着は、農家にとって非常に厳しいものがあります。農家はこれまで、こめの完全自給を前提に国の施策に協力してきましたが、それが崩れたのです。新しい施策を提示しないまま踏み切ったことにより、農家や農協の選択は非常に難しくなります。農家の意志を大切にしたいと歩んできた農協としては、はじめをつける時、と考えています。

町には千七百町歩の水田があり、そのうち千町歩を専業農家で耕作すれば、一戸二十町歩耕作する農家が五十戸できます。残りの七百町歩は一町歩以下耕作の兼業農家



夏休みを利用して野菜のもぎとりを体験

(生協組合員)

が耕作。この方たちは保有米や緑故米の生産でしようが、意外に足腰が強い気がします。農協は将来、そういう二本立てで取り組んでいく必要があります。もちろん、補助金を集中的にかけるようなシステムをつくり、大規模農家を育成するような施策をとってもらわなければなりません。

また、農業の振興には町をどうビジュアルして消費者の理解を得ていくかが重要です。日本のこめが不足しているいま、生産者が玄米五割ずつ出しかけて生協の組合員さんに少しずつでも食べていただくという計画しています。そういった肌のつき合いが大事だろうと思います。納豆工場も八郷の大豆を使って作ったということですから当然ビジュアルにつながります。その後、CP(チキンプロフェッシング)センターを作りました。ここ

では、地鶏という軍鶏系の肉を生産し生協に理解してもらい、食べていただいています。さらに平飼いをし、青物をふんだんに食べさせ、安全性の高いたまごを生産しています。これも将来、八郷の銘柄になると思います。もう一つ

は三年がかりで作った「八郷の穂」という酒。二千七百本の限定生産で、そのうち二千本を八郷農協で販売しました。キャッチフレーズは「やさとの水とやさとのこめそして水戸の酵母で作った酒」。これは名前に偽りなく、そのとおり作りしました。売れ行きは好調で、こしも作る予定です。

それらを含めて、町の自然はいかに豊かであるか、そこに住んでいる人たちがいかにすばらしいかを消費者にビジュアルしていきたい。これからの農協は、農産物を自らの手で直接消費者に手渡していくことになると思います。

町長 これからの農業は産直の推進と農地の集約化大型化が行われなければならない現実には打ち勝て

地域振興進め購買力高める

商工会長 商工会は昭和三十五年商工会法の成立に基づき設立された特殊法人です。会員数は現在八百五十一名で組織率は七一・六%

。事業は経営改善事業と地域総合振興事業に大別されます。前者は個人を対象に金融、税務、経営、労務などに関する相談、指導、講習を行っています。後者は

集団とか地域を対象にした事業で幅が広く、内容は商店街活性化事業、柿岡城まつり、優良従業員表

ないと思います。

産直は「八郷らしさ」の農業を作り上げるうえでとても大切です。町としても生産者と消費者の交流をはかりながら産直にもつと力を入れたと考えております。

八郷の農業は厳しいけれど、農協の納豆工場やCPセンターのようにそれぞれの条件に合った発想工夫をすれば必ず展望は開けると確信しています。続いて永井商工会長さんお願いします。

彰として今回発足した柿岡商店街協同組合事業など多種多様です。これまで経営改善事業が中心でしたが、今後は地域振興に重点を移していく必要があります。しかし、予算面、財源の問題など思うように進まないのが現状です。

商工会の財政構造は、国、県、町補助金が六〇%と会費と手数料収入の自主財源が四〇%。平成五年度は町補助金を一般事業で五十万円、従業員表彰で二十万円ずつ増



CPセンターでは月にブロイラー13,000羽、地鶏5,000羽を処理・加工し、直接消費者に販売。

額していただき感謝しています。八郷のような農業にウエイトの高い地域にあって地域振興を進めるには、商工会と農協さんの連携プレーがとても大切です。とりあ

えず住民参加、地域密着のイベントの共催などから始めて、将来は特産品の共同開発、研究など「むらおこし事業」をともに進めたいと考えています。それには今回のような座談会、意見交換の場を定期的に持つことが必要です。

商工会、農協の抱えている悩みは町の問題でもあります。商工会は、かけがえない財産である自然環境を保ちながら就業機会、所得機会をふやし、都市部へ流出す

る購買力を防止するにはどうしたらよいかなど、さし迫った問題を抱えています。

また、来年は役場庁舎が柿岡商店街の中心部から北へ寄った中央公民館のほうへ移転しますが、そうしたら商店街がさびしくなるのではないかと心配しています。現在の庁舎跡地を活性化をはかるうえでなんとか多目的に使用していただきたいと思っています。たとえば商工会とか商店街協同組合の事務所とかシール会の事務所とかに。

町長 商工会が昭和三十五年設立以来、今日までご努力され、一歩一歩着実に進展をみせていることに對しまして、敬意と感謝を表する次第でございます。

時の流れとともに、就業構造が変化し、若い人たちが町外に流出している現実があり、それとともに買い物をよその地に求めるということがあります。

町としては平成四年九月に都市計画地域の指定を受け、平成六年度を目標に基本計画を作成します。七年度には用途地域といって、住宅地域とか、商業地域とかを決めたいと思います。このような都市



桜井町長

計画を基礎に、柿岡商店街のみなさんとともに活性化をはかっていくべきだろうと考えております。

ただいま、会長さんから農協との連携という言葉聞き、力強く思っております。いずれにしても、この困難を乗り越え、町発展に結びつけるには、行政、農協、商工会が三位一体となって町づくりを進めることが大切であると、心しているところでございます。

また、新庁舎の建設位置については、昭和六十三年に行った「町の将来について」というアンケート調査で、新庁舎の建設予定地はやはり中央公民館の隣接地が最適と回答されていた方が八〇%以上いました。さらに、庁舎建設特別委員会の答申も中央公民館の隣接地が一番ふさわしいとしているこ

とから平成四年九月、議会に役場の位置の変更に関する議案を提案し、議決を得て決定しました。

なお、現庁舎跡地の問題ですが、会長さんがご提言くださったように、町としても貴重な財産でござります。どのように利用し活用す

柿岡中心に道路網の整備を

組合長 柿岡商店街の中心部は八郷で一番いいところだっという感じがするんです。高台ですから筑波山がよく見えるはずですよ。

いまのように両側に店舗が並ぶんじゃないかと、片側を遊べる広場に、もう一方を店舗にすればすばらしい景観の中で、買い物ができるようになると思います。八坂神社のケヤキの木が、きまり悪そうに立っているのが気になって仕方ありません。

もう一つお願いしたいのは、柿岡を中心に放射状の道路を作っていたこと。八郷の中心にむけていろいろな方面から道路が入ってくるような道路行政をすれば、非常に活気づくと思うんです。今度の畜産試験場に関連しての道路もすばらしいものができるだろうと思います。町の中心となるところに道路が結びつかないのでは、と心配しています。

町長 「すべての道はローマに

通じる」という言葉がありますが、やはり町発展には道路網の整備が不可欠です。町道のみならず、県道にしましても県に働きかけを致しまして、柿岡を中心とした中で道路体系を作り上げていかなければならないと考えております。

ばならないと考えております。現在、町道では柿岡にむけて飯塚山崎線拡幅工事を急いでおります。また、県道石岡下館線の整備促進も県へお願いしているところであります。都市計画を進める中でも柿岡を商業地域として位置づけ、道路整備や下水道など関係する事業を取り入れ、充実ははかりたいと考えております。

組合長 納豆工場に行ってもらいと分かりますが、周辺の自然環境が非常によく四季おりおり楽しめるんです。たとえば秋には柴間、山崎の山々がまっかに紅葉するんですよ。その時、生協の組合員さんたちが訪れると「すばらしい景観ですね。八郷の自然に触れると心が洗われるみたい」と感激するんです。そのような自然豊かな環境の中で作られた納豆は、安全で、新鮮な食品だろうと思う訳です。



急ピッチで整備が進められる町道飯塚山崎線

いまは単に買い物をするだけでなく、景観がよくなるようなシステムにしないと、なかなか人が集まらな

いんじゃないでしょうか。

商工会長 大型店舗の中には、ゆつたりした休憩室を設けたり、大きな樹木を植えたりして広い空間を余剰地として利用し、販売面積が少なくなつてるところがあります。公園がそのまま売り場といった感じです。柿岡も子ども連れ

競い合いながら質を高める

町長 計画中の畜産試験場に観光農業を兼ね備えるといった形で、三者がうまく利用できないかと、考えているんです。

組合長 それは大へんありがたいことです。商工会と一緒に事業ができれば必ず町の活性化につながります。

宮城県に角田という農協があるんですが、そこは商店街と一緒にイベントをやり成功しているんです。その農協は商店街の中心に本所があり、結婚式場まで持っているんです。最初非常に商店街とのあつれきがあり、移転騒ぎまで出てきたそうです。ところが、いざ農協が移転しようとした時、商工会はいかれては困るいてくれ、と逆に反対し



萩原農協組合長

で遊びながらショッピングをするという環境ができればいいんですがね。ミニ公園をつくるとか、店舗の移転とか、クリアすべき問題はたくさんあります。

また、町、農協、商工会の三者で一致した事業などできないものではないでしょうか。

ました。現在は、農協がイベントを行うと商店街まで一緒にやってしまふんですよ。農協祭というんじゃないくて、地域ぐるみ、町ぐるみになつちやうんです。ですから、これはすごい、というくらいの人が集まるんです。

町長 でも、町商店街の一部には、農協さんが商社のようにあま

りにも手広く商売をやるといふ非難もあるんですよ。私たちの生活が脅かされるといつてね。

組合長 農協が手を引けば柿岡商店街はものすごく発展するか、といえは私はそうじゃないと思うんです。どれだけ地域の人たちと密着するか、ということこそ商工会のみなさんも考えてもらわなくちゃなりません。そういう競いあいの中で、お互い伸びていくことが大事じゃないんでしょうか。つくば市など都市部へなせ若者たちが流れるのか。むこうへ行く人間をできるだけ食い止めるには、農協と商工会が知恵を出す必要があります。

たとえばお互い金を出しあつてテナント性のものを作り、そこへ客を寄せようと、そこを拠点にするんだというふうなことになるれば、一番いい事なんです。

お互い競い合いながら質を高めしていくこと。競い合う中で合意するものが出てくればそれを一緒に行うこと。そういう発想で進めないと共倒れになってしまう。農協が手を引いた部分、柿岡商店街が潤うんじゃないくて、つくば市などに流出するようではね。

三位一体で難局乗り切る

町長 最近、野沢菜とスキーであつた長野県野沢温泉村を視察してきました。ここは組合長さんお

つしやられるように、行政主体ですが、農協と商工会が一体となつてむらおこしを進めているんですよ。農協と商工会が話し合いながら一緒に一つのものを作つ



永井商工会長

最後に新しい年にむけての抱負をお願いします。

組合長 今年は農業にとつて全く新しい年です。これからは農産物に生産者の名前と場所などを明示して消費者に信頼いただくような時代になります。そういう準備の年、言いかえれば新しい農業出発の年ともいえるでしょう。農業にも、農協のためにも背水の陣を敷いた中で、どう現状をクリアしていくかを念頭に、新しい年を迎えたという感じがいたします。

ていくんです。だから町内の各団体が相反するようなことがあつては町は絶対伸びませんよ。今回の座談会を契機に、両団体が一層密接になり、八郷町のさらなる発展につながればと期待しております。これからこのような話し合いの場を持つて意思の疎通をはかつていきたいと思ひます。

町長 農業の厳しさと合わせて商工業においても非常に厳しいものがあります。その中で、行政、農協、商工会が三位一体となり、この難局を乗り切つていきたいというのが私の願いでございます。どうもありがとうございます。

るさとづくりを推進

一般会計

歳入 **93億737万円** 歳出 **86億2,526万円**

一般会計

平成4年度の一般会計決算額は、歳入合計が93億737万円（対前年度比3億7,477万円増）、歳出合計が86億2,526万円（同比2億3,131万円増）となりました。このうち繰越明許にともなう平成5年度へ繰り越すべき一般財源、726万円を差し引いた実質収入は6億7,485万円となりました。

歳入の状況

歳入のトップは、国が一定の基準により地方公共団体に交付する地方交付税で34億3,000万円。歳入全体の36・9%を占めました。次いでみなさんから納めていただいた町民税や固定資産税などの町税が20億8,822万円でした。前年度比は2億6,068万円増となりました。以下、財産収入・繰越金・繰入金などが14億8,524万円（対前年度比18・9%減）特定の事務事業を行うとき国県から補助を受ける国県支出金は10億7,450万円（同比2・9%増）国税として徴収され、そのまま町に与えられる地方譲与税などが6億2,721万円（同比1・3%減）と続きます。

町が特定の事業を行うときに必要な財源を調達するための地方債

は、6億220万円（同比14・1%増）となりました。

歳出の状況

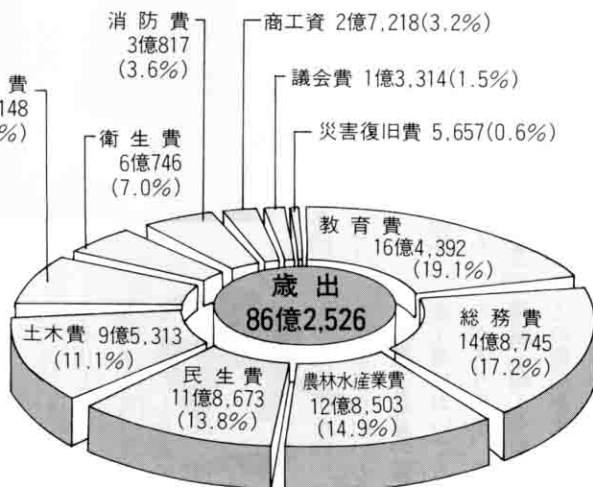
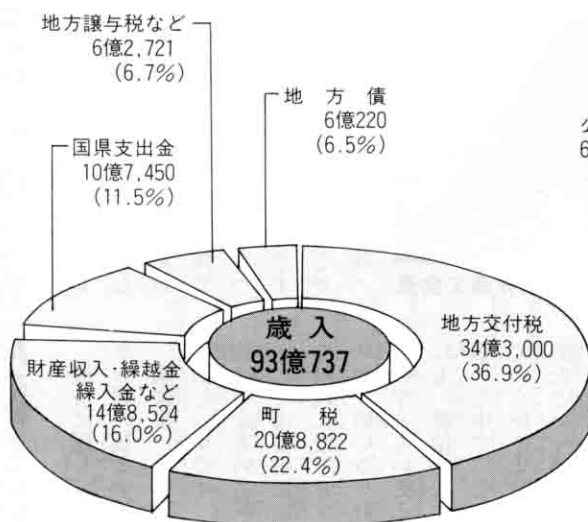
歳出での第1位は芦穂小学校校舎改築事業などが含まれている教育費で16億4,392万円（対前年度比15・8%増）となり、歳出全体の19・1%を占めました。第2位は総務費の14億8,745万円（同比13・3%減）続いて町の基幹産業である農林業の育成に使われた農林水産業費が12億8,503万円（同比7・3%増）の順になりました。

高齢化社会をむかえ、社会福祉や老人福祉、老人医療給付費などが含まれている民生費は11億8,673万円（同比31・0%増）のほりまし

また、町道の新設改良や地域改善対策事業などを進めた土木費は、9億5,313万円（同比4・6%減）となりました。保健衛生やゴミ処理などに使われた衛生費は6億746万円（同比22・4%増）に。一方、ふれあいの森の事業が減少した商工費は、2億7,218万円となり、前年度比66・1%減額しました。

一般会計決算の内訳

（単位：万円）



繰越明許費 **726万円**
実質収支額 **6億7,485万円**

平成4年度 決算報告

魅力あるふ

平成4年度の町の決算が昨年12月の議会で認定されました。一般会計と特別会計を合わせた当初予算総額128億3,642万円に対して、それぞれ補正予算を組み、経費の適正化をはかるとともに、住みよい町づくりをめざしてさまざまな事業を実施してきました。ここでは4年度決算の概要を紹介いたします。

特別会計 (万円)

	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	19億4,456	17億1,354	2億3,102
老人保健事業	15億2,508	15億2,293	215
八郷農業集落排水事業	3億9,629	3億9,565	64
フラワーヒル汚水処理施設管理事業	2,184	1,615	569

水道事業企業会計 (万円)

	収入	支出	差引
収益的収支	5億4,073	5億1,740	2,333
資本的収支	4億4,042	4億6,620	△ 2,578

町債・企業債残高 (平成5年3月末現在)

一般会計	50億786万円
水道事業企業会計	34億8,089万円

特別会計

一般会計のほか、町には国民健康保険事業、老人保健事業、八郷町農業集落排水事業、フラワーヒル汚水処理施設管理事業の4つの特別会計と水道事業の企業会計があります。平成4年度水道事業企業会計の決算については、昨年9月の町議会定例会で認定されましたが、ほかの特別会計4つは、12月の町議会定例会で認定されました。それぞれの特別会計・企業会計の決算額は表のとおりです。

国民健康保険事業の収支決算額2億3,102万円は、今後の医療費の伸びも考慮して翌年度へ繰り越すことになりました。老人保健事業の収支額2億1,508万円は、町

へ返戻するため、繰り出しました。平成4年度で2年目をむかえた農業集落排水事業は、県委託事業により東成井地区および東成井第2地区に処理施設を建設しました。収支額の64万円は翌年度に繰り越されます。

フラワーヒル柿岡団地内汚水処理施設管理事業は、人件費と施設管理基金積立金が主なもので、収支額569万円は同じく翌年度へ繰り越すこととなります。

水道事業会計は、使用料を徴収し、事業運営を行う収益的収支が2,333万円の黒字。固定資産や減価償却による資本的収支は、2,578万円の赤字となりました。赤字分は、過年度分総利益勘定留保資金から補てんします。

1 産業の振興 (主な事業名と事業費)

- ▷山村林業構造改善事業 (木材集出荷販売施設整備 集会施設建設、林道開設等) 9,220万円
- ▷林道開設・舗装事業 5,257万円
- ▷県単土地改良事業 2,923万円
- ▷農業経営近代化施設等整備事業 3,600万円
- ▷畜産試験場用地取得事業 1,182万円
- ▷産地グレードアップ整備事業 2,398万円
- ▷水田農業確立対策事業 (転作助成等) 4,406万円
- ▷農林業同和対策事業 1億2,804万円
- ▷団体営農道および県単農道整備事業 7,012万円
- ▷霞ヶ浦水質浄化畜産環境対策事業 1,800万円
- ▷国民宿舎浄化槽等改修事業 7,516万円
- ▷ふれあいの森整備事業 5,150万円
- ▷商工振興への補助金等 1,035万円
- ▷観光振興への補助金等 384万円
- ▷石岡台地営農対策モデル事業 2,051万円

地域産業の活性化



農業近代化施設で栽培したバラを出荷する中戸の浅野さん。

2 教育文化の向上（主な事業名と事業費）

▷ふるさと創生人材育成事業	183万円
▷芦穂小学校施設整備事業	7億1,401万円
▷小・中学校管理（修繕等）	8,221万円
▷教育振興対策事業（幼稚園就園奨励費補助、 学力向上対策補助等）	1,975万円
▷小・中学校備品購入事業	1,144万円
▷社会教育の推進（家庭教育、婦人教育、成人教育、 文化財の保護顕彰、文化芸術の振興等）	789万円
▷公民館活動の推進（公民館講座等の開設、地区公民 館事業、フラワーロードづくり）	653万円
▷スポーツ・レクリエーションの振興	774万円
▷学校給食備品購入事業等	930万円



最新の設備をそなえた芦穂小学校

多彩な生涯学習を

3 対話・環境の充実（主な事業名と事業費）

▷広報紙の発行	673万円
▷町勢要覧やさと発行事業	1,074万円
▷庁舎建設事業（設計委託）	544万円
▷交通安全対策事業	343万円
▷道路新設改良事業（飯塚山崎線、神影行在所線、 飯塚片岡線、その他一般町道）	8億165万円
▷道路維持・補修事業	2,760万円
▷町消防団維持・施設整備	6,463万円
▷新治地方広域事務組合消防負担金	2億4,353万円
▷新治地方広域事務組合塵芥焼却場負担金	1億5,020万円
▷合併処理浄化槽設置整備事業	1,215万円
▷公共土木施設災害復旧事業	5,083万円
▷水道事業会計補助金	1億4,676万円



公共施設を見学する町政モニターのみなさん

安らぎのある環境

4 福祉・健康の確立（主な事業名と事業費）

▷新治地方広域老人センター負担金	1,209万円
▷老人福祉対策事業（敬老会補助、敬老祝金、各種 老人クラブ助成）	1,558万円
▷要援護老人福祉対策事業（家庭奉仕員派遣含）	1,418万円
▷地域改善対策事業	1,179万円
▷児童手当支給事業	5,313万円
▷園部保育所改築事業	1億3,517万円
▷児童の保育（保育所費）	4億5,248万円
▷老人保健事業（成人病予防・健康相談等）	2,926万円
▷結核、肺がん検診事業	426万円
▷予防接種事業	731万円
▷母子保健事業	193万円



定期的に成人病検診をし、早期発見につとめる

大切ないのちを守る

12月定例議会

一般会計 予算89億6、280万円に

平成5年第4回町議会定例会が12月14日から21日までの8日間にわたり開かれました。上程された議案は、平成5年度一般会計補正予算など6件で、いずれも原案どおり可決されました。ほかに平成4年度八郷町一般会計歳入歳出決算についてなど認定5件、報告1件、陳情3件、意見書案2件、決議案4件が上程され、いずれも原案どおり可決採択されました。主な内容は次のとおりです。

農作物災害資金の

利子補給など追加

一般会計補正予算は第7号と第8号の2つが上程されました。第7号は、歳入歳出それぞれ5、260万5千円を追加し、予算総額88億7、774万円とする。ことと、債務負担行為の追加は、冷夏、長雨による被害農家が借り受ける農作物災害経営資金の利子補給と損失補償をすること、国指定重要文化財善光寺楼門保存修理工事が国補事業として認定され、5年度から7年度にかけて継続事業で実施されますが、その町負担

分の債務負担を行うものです。

歳入は、前年度繰越金の補正増が4、365万4千円とほとんどを占め、医療福祉費の県補助金が622万4千円、花卉銘柄化推進事業、県単農道整備事業など、農林水産業費補助金が426万3千円などの補正増です。

歳出の主なものは、障害者等の医療扶助の対象者が増加するに伴う医療福祉費が1、244万9千円、小桜小学校校舎改築による教育用器具を購入するための学校建設費が1、771万8千円、柿岡中学校敷地の法面保護工事を行う学校管理費が595万円、農地復旧に対する補助金の農業用施設災害復旧費が400万円など、それぞれ

れ補正増となりました。

第8号は、歳入歳出それぞれ8、506万1千円を追加し、予算総額89億6、280万1千円とすること、債務負担行為の追加です。債務負担行為の追加は、冷夏の被害農業者が借り入れる系統災害資金1億4、890万円に対する1・6%の範囲内での利子補給をするものです。

歳入は、前年度繰越金が7、865万円で補正増のほとんどを占めています。

歳出の主な内容は、人事院勧告



冷夏のため実らなかった稲穂

に基づく給与改定に

ともない必要となる給料、職員手当など及び共済費の増額、町道用地陣場線用地購入の道路新設改良費2、800万円などの補正増です。

平成4年度一般

特別会計決算を認定

また、平成4年度八郷町一般会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計歳入歳出決算、老人保健特別会計歳入歳出決算、フラワーヒル柿岡団地内污水处理施設管理特別会計歳入歳出決算、農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の5件（内容は別掲）がそれぞれ認定されました。

採択された陳情は、①災害資金の利子補給に関するもの、②朝日小学校校舎及び体育館建設に関するもの、③柿岡八重地内の道路改良舗装に関するもの、の3件です。



寒さの中で行われた12月の本会議

意見書は政府に対して八郷町議会名で提出されました。一つは、平成6年度予算の編成にあたり道路整備予算への重点配分を行うことを強く要望する道路整備推進に関する意見書。もう一つは町の治水施設の整備を進めるため、平成6年度予算の大幅増額を強く要望する治水事業の推進に関する意見書です。

一方、決議案として次の4件が可決されました。一つは乳製品輸入自由化（関税化）絶対阻止に関する決議、二つ目は学校給食牛乳予算確保に関する決議、三つ目は非核平和都市宣言に関する決議、四番目は米市場開放阻止に関する決議です。

町立小桜保育所

小桜保育所は、太字川又の中心地に、サクラの古木で有名な小桜小学校と並ぶように建てられています。

同所の児童数は現在、七十六名。柿岡、小幡に次いで三番目の多さです。一歳から五歳まで年齢別、四クラスに分けて保育しています。年間行事は親子遠足をはじめ、町の福祉バスを利用しての園外保育（月一回）、七夕祭り、運動会、生活発表会など盛りだくさんです。なかでも月一回の園外保育は、屋外で手づくりのお弁当を食べる



という楽しみつきです。それぞれの家庭で作った色とりどりのおかずを交換しながら、広々とした野原で友達と一緒に食べる昼食は格別よい味がするようです。昨年の運動会に参加賞として父母の会（松延康夫会長）から園外保育用のおそろいのリュックサックがプレゼントされました。行き先はフラワーパーク、常陸風土記の丘、玉造

月1回の園外保育で 自然満喫し収穫を体験



一生懸命練習した演技を家族の前で披露。発表会

ふれあい公園、常陸海浜公園など。シーズンになるとブドウ狩り、ミカン狩り、イチゴ狩りを体験し、収穫の喜びを味わいます。

親子そろって参加する楽しい秋の運動会が終わると、十二月の生活発表会にむけての練習がはじまります。合唱、合奏、遊戯、舞踊劇などに全児童が取り組みます。幼ない児童に教える時は、職員もひと苦労。発表会当日の衣装を準備するのも大へんで、ほかの保育所から借りたり、不足の品は職員

が作ったりして間に合わせます。発表会には、家族そろって児童たちの演技を見に来ます。演技をしている途中、「おばあちゃん」などという声が出てしまう児童もあり、和気あいあいのうちに発表会が進められます。

また、同所を卒業した小学生が休み時間や学校帰りに立ち寄り、児童たちと親交を深めています。保育所が取り持つ縁で、さまざまな人間関係が生まれ、その中で児童たちはすくすくと育っています。

町長の日記帳から



村民全員でむらづくり

桜井盾夫

十二月の主な動向はつぎのとおりです。
一日 水補正予算査定
二日 木 三日 金 むらづくり研修（長野県野沢温泉村）
五日 日 文化講演会（小幡地区公民館主催）
七日 火 生涯学習本部推進会議
八日 水 新治地方広域事務組合管理委員会、郡町村長、議会議長懇談会
九日 木 信号機設置陳情
十日 金 水田営農活性化対策協議会、消防団役員会
十二日 日 生涯学習の集い講演会
十三日 月 土地改良区合併協議会
十四日 火 二十一日 火 議会第四回定例会
十五日 水 老人大学卒業式
十九日 日 第十回八郷オーブンバドミントン大会
二十日 月 人生学院賀状贈呈式
二十二日 水 交通安全立哨指導農事実行組合長会議
二十四日 日 農業振興地域整備促進協議会
三十日 木 三十一日 金 歳末巡視（新治広域各消防署）

人口五千人の小さな山峡の村ですが、年間の一般会計予算が四十五億円、ほかにスキー収入が四十五億円もあり大へん豊かな村でした。温泉は村のいたるところから湧き出ており、その湯で野菜などをゆでたり、自由に温泉風呂に入ったりして暮らしています。豊富な水量を利用して戦後まもなく水道も設けました。そのように自然を生かしたむらづくりの徹底ぶりには目を見はるものがあります。

一方、村に入るとゴミ一つ落ちてないというほどきれいで、村民の自然環境を大切にしている心が伝わってくるようでした。同村の内容をそのまま八郷には持ち込めませんが村民総参加のむらづくりは見事なものでした。

主任児童委員3名を委嘱

健やかに子供を生み育てる環境づくりのために

このほど、児童委員(民生委員)活動の一層の推進を図るため、児童福祉に関する事項を専門的に担当する主任児童委員が設置され、町から三名の方が平成六年一月一日付けで厚生大臣の委嘱を受けました。

近年の出生率の継続的な低下に伴い「健やかに子どもを生み育てる環境づくり」が、社会全体の課題となっている現在、地域においても児童、妊産婦の福祉に関する相談や援助活動を行っている児童委員への期待が高まっています。

そこで、主任児童委員を設置、従来の区域を担当する児童委員と一体となり活動を展開し、児童委員活動の推進を図ろうというものです。

今回、委嘱された三名の主任児童委員の皆さんには、現在、民生委員として活躍中の五十名の児童委員の方と共に児童福祉のために活動していただきます。

なお、主任児童委員の主な仕事としては、

◇市町村、児童相談所、学校および教育委員会などの関係機関と連携を密接にし、児童および児童を取り巻く家庭環境・社会環境について詳細な情報を収集します。

◇健やかな子どもを生み育てる環境づくりのため、地域ぐるみで子育てを行うための啓発活動を行います。

◇地域での児童の健全育成活動や母子保険活動の推進に関係機関と連携し、地域の健全育成関係の協議会等への支援、協力、参画をします。

◇児童の権利が著しく侵害されたり、健全育成に好ましくない環境があるような場合は関係機関等へ

の連絡、通報や意見の申し立てをします。

…などが挙げられます。

町の主任児童委員は、次の方々です。児童福祉に関する理解と熱意、知識と経験を有し、地域における児童の健全育成活動の中心となり、積極的な活動が期待されている皆さんです。

町主任児童委員

佐藤順子(51歳)さん・補助教員

下林 隆(51歳)さん・電話 四三六〇九〇

寺門 一美(50歳)さん・運送業

小山田 隆(51歳)さん・電話 四三六三二六

富田恵子(43歳)さん・主婦

小幡 隆(51歳)さん・電話 四二一三八八

主任児童委員、児童委員とも秘密を守る事が義務づけられています。困ったときは、お気軽にご相談ください。



佐藤 順子さん



寺門 一美さん



富田 恵子さん

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

春を呼ぶ 草花まつり



立春を迎えるとはいっても寒い日が続きますが、「花と緑の楽園」フラワーパークでは、二月六日から十三日まで「春を呼ぶ草花まつり」を開催します。春の訪れを告げる草花、プリムラ類やアザレア、パンジーなどを多数展示し、ひと足早い春を味わっていただきます。

開期中花の売店では、展示品と同種の草花を格安にて販売します。

また、最終日の二月十三日には、午後一時から春の草花の手入れや管理方法などについての講話と実技指導を中心とした園

芸教室が開催されますので、参考にしてください。

同じく十三日の午後一時三十分からは、展示した草花をお客様に参加していただきオークション(競り売り)を開催、即売します。

その他、大温室内では熱帯植物を中心に南国ムードがあふれており、洋ラン展示室では、華やかなカトレアや胡蝶蘭なども楽しめますので、ぜひおいでください。

なお、フラワーパークは月曜日は休園となりますのでご注意ください。

八郷町の文化財

(18)

豪快な筆法と筆力

隠元禪師の書(二幅)

町指定 昭和47年11月7日

所在地 八郷町柿岡 吉田広司宅

隠元禪師(一五九二—一六七三)は明の国福州福清に生まれ、江戸時代の初期、承応三年(一六五四)六十三歳で日本に渡り、長崎で仏法を説き、その後、京都の宇治に黄檗山万福寺を創立し、黄檗宗を広めました。後に大光普照国師の地位を賜わり、真空大師の号を追賜された隠元禪師の書として文化財に指定されたものです。

禪師の書は、筆勢にこだわることなく、心のまま筆のおもむくままに書きながらも文字の美を備えています。



ており、この書の制作年代や由来については不明ですが、筆墨もよく、豪快な筆法と筆力が感じられます。

また、伝承によると、現在日本各地で生産され食膳を賑す「インゲン豆」の元祖は、隠元禪師であると言われています。

極楽往生と現世利益を祈願

経筒と石櫃

県指定 昭和42年11月24日

所在地 八郷町立中央公民館

園部川の南側台地に、奈良時代のころ開設されたと思われる古い道があり、「瓦谷街道」と呼ばれ瓦塚から石岡国分寺の屋根瓦を運んだ道と伝えられています。現在は舗装道路となり石岡の工業団地に通じ、朝夕の通勤道路となっています。

この瓦谷街道と片岡方面から柴間に通じる町道との交差点西の畑地(ギター文化館前)に小高い塚がありました。昭和三十八年に発掘調査を行ったおり、中心部から花崗岩製の石櫃と中に納められた銅製の円筒形の経筒が発見されました。



経筒は総高約十二センチ。側面に「大永三年(一五三三) 甲州高屋住街善・小聖善貞」と明瞭な刻銘が残されています。現在の山梨県東八代郡八代町高屋に住んでいた回國聖の道善らが納めたものとわかりました。

塚を築き、経文を収めた筒を土中に納める思想は九世紀以降に盛行し、特に鎌倉・室町時代は「極楽往生・現世利益」を祈願、供養するために全国各地で営まれました。六部とか六道と呼ばれた回國聖は全国六十六か国の霊地や聖地を訪れ、埋経を続けながら供養に専念したといわれています。

当地から出土の経筒は、室町期における仏教関係の貴重な資料であり、特に経筒と石櫃が整っていることは全国にも数少なく、県の重要文化財に指定されています。

最近気になる病気

嵌入爪「巻き爪」とは

石岡市医師会病院

外科 田辺 淳医師



嵌入爪は、爪の側縁が爪溝に深く食い込んで痛みを起こす病気で、一般的には「巻き爪」と呼ばれています。

足の第一趾(親指)に多くみられ、びったりした靴などによる圧迫が原因と考えられています。

家族的に起こりやすい傾向もあり、まれに靴をはかない幼児でもみられ先天的な爪の変形とも考えられます。

症状は第一趾爪縁の発赤、腫脹、疼痛(爪郭炎、爪囲炎)でひどくなると化膿性肉芽腫(肉が盛り上がり膿がでる)を形成することもあります。

炎症の発生を予防するための日常の手入れとして、足趾を清潔にすること、爪を食い込ませないように切る、あまりびたりした靴や靴下をはかないことがあげられます。

爪郭炎、爪囲炎を起こしている急性炎症期には根治的治療は

行うことはできませんので、消炎鎮痛剤、抗生物質の投与、爪の部分切除、爪郭肉芽の除去、切開排膿など状態に応じた処置を行います。

これらの処置で症状は軽快しますが、再び爪が伸びてくれば、ほぼ一〇〇パーセント再発してしまいます。根治的治療をする場合は急性炎症の治まっている時期に行います。

手術は、局所麻酔で行います。入院の必要はありません。爪は足趾の骨の近くから生えてくるため、この部分を含めて、食い込んでいる爪の側縁と爪郭の肥厚部を切除しなければなりません。

手術後は歩行は可能となりますが、靴ははけないためサンダルを用意しておいたほうがよいでしょう。2、3回の外来通院が必要で、抜糸は2、3週間目にします。



食生活改善推進員 斎藤 孝子(柿岡)

材料(4人分)

卵5~6個 えび8尾 春巻きの皮8枚 青じその葉8枚 パセリ適量 A〔片栗粉小さじ1・小麦粉小さじ1・水少々〕 塩 こしょう・揚げ油適量

作り方

- ①卵は固ゆでにして殻をむき、木じゃくして粗くつぶし、塩、こしょう各少々で味付けします。
- ②えびは背わたを抜いて曲がらないようにタテに竹ぐしをさしてゆで、殻をむきます。
- ③Aを混ぜ合わせて糊を作ります。
- ④春巻きの皮を広げて青じその葉を一枚ずつ乗せ、卵とえびを8分の1ずつ置いて、くるくると包み込み、春巻きの終りは③の糊をぬって止めます。
- ⑤180度に熱した油に④を入れてカラリと揚げ、そのまま、あるいは半分に切って器に盛り、パセリを添えます。

わが家CCTV

柿岡

海老沢 駿介ちゃん

父 克也さん 母 陽子さん
平成2年7月19日生まれ(長男)

♥家族からの一言

ロボットが大好きでテレビのまねをしていつも遊んでいます。
体が大きいので、わが家のスーパービックアイドルです。
健康で、おらかな子に育ってほしいです。



四季おりおり

八郷の歳時記

①



凍上の底柔らかや鍬始 力也

一月十一日は「鍬始」である。八郷町では「鍬入れ」と言っているところが多い。早朝、一家の鍬頭がその年の恵方に向って、搔垂れを結んだ松の小枝と幣束を立て、半紙を折ってその上に白米と餅を供える。鍬で三条の畝を作り、そして「カラス、カラス」と呼ぶのである。ところによ

っては、半紙三枚に矩形に切った餅と白米を供え「カ

ラス、カラス」と呼び「鵜」の食

べる順により、早稲、中稲、晩稲どの品種を多く作るかを占ったと言

う。正月十一日の日の出のころは身を切るような寒さである。そんな中、頼かむりをして着ぶくれた老翁、元気の良

厳しい寒さの中五穀豊穣願う

まった行事であるのか定かではないが、農耕民族の長い歴史のなかから生まれてきた行事ではなからうか。

律義な農村の人たちは「鍬始」の済むまではだれも野良仕事はせず、家の中でこれからの農作業の準備に従事したのであろう。

ちらの畑、あちらの畑から「カラスカラス」と呼ぶ声が聞こえてくる。畑にその年初めて鍬を入れたその鍬は、きれいに洗って、柄に半紙を巻いて水引で結び神棚の前に供え置くところもあった。

一年の五穀豊穣と息災を祈っての農事始の儀式である。いつのころから始

かつて、正月十一日が過ぎると、畑々に搔垂れを結んだ松の小枝と幣束が立てられてあったのだが、今こんな光景は全く見られなくなりました。

一月四日は「薬打ち始」である。薬は農家の貴重品であった。縄、ぞうりわらじ、蓑など、みな薬製品であった。薬打ちは、薬仕事に欠かせない作業である。打って柔らかくして

作業をやりやすくと共に、繊維質を叩き出して強

靱にするためである。十一日の鍬始に對し、四日の薬打ちの行事は正月三日が過ぎ田畑の農作業に入る前に屋内の作業をするための、生活の知恵から生み出された風習なのであろう。

筑波嶺に向い一礼鍬始

広報やさと俳句選者 綿引鼓峰

みんなの広場

習字コーナー

評 日本教育書道連盟審査員 岩波芳水

小幡小二年 桜井あゆみ

恋瀬小一年 高野なつみ

そら
そらそらそら

みぞ
みぞみぞみぞ

ていねいに形もよく、落ち着いたよい作品です。

のびのびと力強く、よく書けています。

思います。

匿名

水道使用量検針について、平成三年十一月不備を指摘、その改善を約束したにもかかわらず、乱脈を続けているのは意慢である。

匿名

◆ご意見をいただきました水道使用量の検針につきましては、現在三名の検針員を委託し、約六千二百世帯の検針を行っております。

検針は、毎月定例日検針を基本として実施しておりますが、気象条件等により定例日検針の実施が困難な場合も生じています。今後は、極力定例日検針を実施するよう努力いたしますのでご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

水道課



広報係

私モひとこと

私 の家は道路沿いにあります。ある日突然三匹の子犬が捨ててあ

りました。追っても追ってもしつぽをふってついてきて家から離れようとしないので、困ってしまいました。そのうち一匹は車にはねられてしまいました。残りの二匹もけんめいに食べ物をさがしていました。

私も困り役場に相談して、動物セン

ターで処理してもらいました。

犬を飼っている方、子犬を無責任に捨てないでください。ペットは責任を持って育ててください。一住民

私 は、健康を害し入院することに

なり、お産以来の病院生活を一

か月過ごしました。

その時感じたのですが、お見舞いに来られる方のくつの音がとても気になったのです。特に女の方のヒールのコツコツという音が病室の窓際にいて一番奥にいるのに耳に響くのです。

皆さんも気をつけていただけたらと



柴内 木村奈津美



ラムの妹弥生



柿岡 谷 口



あんず



東成井 山田美由紀(10)

フラワーパークの入場券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 70

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①平成4年度一般会計決算歳入額
はいくら？

(A) 91億737万円

(B) 93億737万円

(C) 99億737万円

②では、歳出額はいくら？

(A) 86億2,526万円

(B) 87億2,526万円

(C) 88億2,526万円

③このほど委嘱された主任児童委員
は何人？

(A) 3人 (B) 5人 (C) 6人

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ70と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入場券とふ
れあいの森の乗り物券をプレゼン
トします。

☆締切日 平成6年2月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
2009-3 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙3月号

【広報クイズ68の当選者の発表】

正解は1-A、2-A、3-Cでした。
応募38通、正解38通の中から次の
10名が当選しました。

秋山美奈(上曾) 行川宏美(須釜)
吉野麻理子(山崎) 塚本久子(下
青柳) 田上泰子(青田) 藤崎早苗
(真家) 中島弘貴(加生野) 田上
福子(月岡) 木村美保(柴内)

〔敬称略〕



うさぎとかめ



上曾 植竹公与



柿岡 滝本理恵

やさと文芸

短歌 吉田次郎

忝じけなおかげさまでにすこやかに米寿を迎ひ申し候
老いらくの我が書く文も詠む歌も皆たわいなく相成り候
枯れ枯れの古木の梅もまだ残る命のありて花芽持ちたり

俳句 綿引鼓峰

水のごと流るる月日去年今年
歎異抄座石の年の改まる
無職には無職の仕事始かな

俚謡 大木嶺月

四大不調も無常の風も人生行路の道標
賀状書く手に喪中の筆を染めて明け待つ戌の新春
暮れる歳々感謝で送り晴れて萬物迎う初春

あけましておめでとうございます。今月は選者の
皆さんの作品を紹介いたします。今月は選者
の皆さんからまた、皆さんの作品を掲載しますので、
ふるつて応募ください。お待ちしております。

朝霧に包まれた静かな山里に突
如現れた気球。どこから飛んで来
たのか？
下青柳地内で



やさ
と
点
描

「まち」の「話題」で「き」と

身近な出来事や地元の話
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線 一一三)

古建築の見事な様式美学ぶ

「八郷の古建築」研究講座(町教育委員会主催)がこのほど、十五名が参加して開かれました。講師は町文化財保護審議会委員の一色史彦さん。太田の国指定文化財善光寺楼門と吉生の県指定文化財

西光院本堂の二か所を訪れ、室町時代や江戸時代後期の社寺建築を学びました。参加者は時代ごとの特長的な建築様式の説明を受け、古人の建築への情熱と技術の見事さに感心していました。

柿岡中ワニ財団の表彰受ける

柿岡中学校ではこのほど、財団法人ワニ教育振興財団から理科教育の研究実践校としての成果が認められ表彰を受けました。副賞は五十万円相当の電気製品で、28型カラーテレビ、フォトビデオカ

メラ、カメラ一体が贈られました。日ごろの苦勞が報われての榮譽ある表彰とあって喜びもひとしおのようです。写真は理科担当の右から藤代晃、古谷田明良、助川陽子の各先生。

平さんスポレクで三位入賞

柿岡の平みつ江さん(46)が、第六回スポーツ・レクリエーション祭(開催地千葉県)のマスターズ陸上競技大会に県代表として女子砲丸投と女子円盤投の二種目(四十五歳から四十九歳までの部)に出場し、いずれも三位に入賞するとい

う見事な活躍を見せました。平さんは中学生のとき、投てき競技を始め、高校ではインターハイや国体に出場するなど輝やかしい実績を持っています。練習は毎週土、日曜日に約一時間、石岡工業団地内の運動場で行っているそうです。「これからも上位を目指してがんばりたい」と、抱負を語っていました。



ときめき
ティータイム

飯村千春(山崎・20歳)さん

ドライブが趣味です。いつかサーキットを走りたい。理想の男性はスポーツマン。



ありがとうございます

○「北海道南西沖地震災害たすけあい」義援金(町社会福祉協議会受付)

●南中学校生徒会ボランティア委員会 四二、一一五円

●林小学校児童会 一五、〇一四円



花いっぱい美しい環境づくり

花と緑の県民運動は、郷土茨城を美しい花と緑でうすめ、ゴミをなくし、散らさないようにする運動として、昭和四十年から多くの方々によって進められてきました。町でも、子ども会、婦人会、老人会、学校などを中心にこの運動が展開されてきました。そして学校・地域・職場において、花だんづくり実践活動の研修会が行われ、「美しい環境づくり」に努力されてきたのです。平成五年度花と

緑の環境美化コンクール（県南教育事務所主催）の入賞団体は次のとおりです。

- (1) フラワーロードの部
優良賞 長堀子ども会、朝日子ども会
- (2) 地域・団体・職場の部
優良賞 園部第三百寿会（写真）
努力賞 恋瀬第六百寿会
- (3) 学校の部
優良賞 有明中学校、瓦会小学校、小幡小学校

飯村さん県マスターズ水泳で優勝

第七回茨城県マスターズ水泳大会がこのほど、水戸市水府屋内プールで開かれ、上林の飯村花子さん（69）が同大会に出場し、好成績を収めました。飯村さんは、六十五歳以上女子の部五十メートル平泳ぎでは二十四秒四十九秒の大会新記録で優

勝し、五十メートル自由形でも二位に入りました。痛めた腰を治すには水泳がいいと友達に勧められたのがきっかけ。ことしで五年目になるそうです。練習は週一回約一千メートル泳ぎ、体力づくりにも大へん役立っているとのこと。

常総木内監督子育て論を熱弁

常総学院野球部監督の木内幸男氏による講演会（町教育委員会主催）が昨年十二月十二日、中央公民館で開かれ、約二百人が参加しました。演題は「趣味と人生」。木内氏が高校野球の監督を引き受けることになったエピソードや全国優勝した時のウラ話など一時間三十分にあわ

りユーモアを交えて話されました。「常総学院野球部には千葉県など他県の子どもも入部している。県内の子どもは挫折するとなかなか立ち直れない。また、監督へのアピールも下手。特に八郷の子どもはもまれていないので消極的である」など、子育ての課題も指摘されました。



一月号から四季おりおり「八郷の歳時記」が始まりました。執筆は広報紙で俳句の選者をしていただいている片野の綿引鼓峰さん。長年の作句活動を通して培った経験から、特長的な八郷の風物詩を紹介してくれることでしょう。

第一回は正月行事の鉄始。夜明け前の寒さ厳しい中、そこかしこから「カラス、カラス」と呼ぶ声が聞こえました。筆者も幼少のころ、父に連れられて呼んだ記憶がよみがえります。

ゴルフ練習場が日本に作られ始めたころ、ある練習場でゴルフボールが紛失するという事件が起きました。だれが犯人か、調査をしたところカラスがくわえていくことが判明したのです。

鉄始には切り餅とコメを供えてカラスのついでに順序によって、その年の稲作を占ったそうです。カラスはその切り餅とゴルフボールを間違えて持ち去ったらしく、言わば人間社会の都合による犠牲者だったのです。数多い正月行事が簡素化される今日、カラスとの関わりを知っている人もいなくなってしまうことでしょう。（岡）

多彩な催しで学習成果発表

第十一回公民館まつりが、十二月十一日(土)、十二日(日)の二日間、中央公民館で盛大に開催されました。同まつりは公民館講座や同好会などで学んだ一年間の成果を発表するもので、多彩な行事が催され、延べ二千人の来館者にぎわいました。



親子で陶芸に挑戦。要所は同好会のかたがたに教わりながらそれぞれの作品を作り上げていきます。手びねりをしている時は真剣そのもの、一心不乱に作品作りにいそしんでいました。

講座室では期間中、藤工芸、袋もの、木目込入形、七宝焼、パッチワーク、水墨画、書道、押し花、陶芸、俳句、短歌などの講座や同好会及び婦人会や婦人学級生による作品が展示されました。これらの作品は、日ごろの公民館活動などで学び作成した力作ばかりです。それぞれに努力と上達の跡がうかがわれ、来館者の目を引いていました。

十二日、大講堂では同好会のコール有明によるコーラスや大正琴の演奏が行われ、会場から盛んな拍手が送られました。また、午後一時からは生涯学習のつどいに関する講演会。講師は常総学院野球部監督の木内幸男氏で、約二百人が参加して熱心に話を聞いていました。

実演コーナーでは陶芸同好会による手びねりが行われ、家族そろって思い思いの作品づくりに挑戦していました。形を整えられた作品は、公民館に備えられている陶

芸用のかまで焼かれ、立派な陶器に仕上がりました。陶芸は手びねりから素焼き、うわぐすり塗りそして本焼き、と作品が完成するまで手間のかかる作業が続きます。今回の実演を体験したことにより、陶芸の魅力に引かれる方が一段とふえることでしょう。

一方、ロビーではチャリティバザーが開かれました。それぞれの講座生、同好会生が丹精こめた手づくりの作品を即売し、好評のうち短時間で売り切れてしまいました。なお、バザーの売上金十万一千百八十円は、出品者の厚意により、すべて町社会福祉協議会へ寄付されました。

平成五年度に開かれている公民館講座は十六を数え、歴史研究、ミソづくり、親子クッキングなど



同好会員全員の共同作業によるパッチワークの作品

多くのみなさんが参加できるプログラムを用意しています。さらに、公民館講座から同好会に移行し活躍している団体は、社会ダンス、エアロビクス、ヨガ、英会話など十九にのほります。このように生涯学習の中心的役割を担う公民館は確実に町民のみなさんの学習の場として定着してきており、公民館まつりも年々盛大になり催し物も多くなっています。みなさんも、趣味づくり、仲間づくりに、そして潤いある文化的生活を送るため、公民館をご利用ください。